

5. 昨年度、地域移行された方の状況についてお尋ねします。移行された居住形態別に障害の程度についてあてはまる番号に○をつけて、その人数を教えてください。

1) グループホーム

(1) 療育手帳B. B2 \_\_\_\_\_人 (2) 療育手帳 A \_\_\_\_\_人 (3) 移行者なし

2) 福祉ホーム

(1) 療育手帳B. B2 \_\_\_\_\_人 (2) 療育手帳 A \_\_\_\_\_人 (3) 移行者なし

3) 通勤寮

(1) 療育手帳B. B2 \_\_\_\_\_人 (2) 療育手帳 A \_\_\_\_\_人 (3) 移行者なし

4) 1人暮らし

(1) 療育手帳B. B2 \_\_\_\_\_人 (2) 療育手帳 A \_\_\_\_\_人 (3) 移行者なし

5) その他

(1) 療育手帳B. B2 \_\_\_\_\_人 (2) 療育手帳 A \_\_\_\_\_人

VI. 地域移行に関連した自活訓練事業についてお尋ねします。

1. 国の自活訓練事業の他に貴施設の所在地の府県市による自活訓練制度の利用について、A Bのどちらか一つに○をして、制度・事業名をご記入の上、各自治体について、あてはまる番号に○をしてください。

1) A 自治体単独の制度・事業がある。 B 特になし



2) 制度の名称または、事業名を教えてください。

(複数回答)

① \_\_\_\_\_ (1)府 (2)県 (3)市

② \_\_\_\_\_ (1)府 (2)県 (3)市

③ \_\_\_\_\_ (1)府 (2)県 (3)市

④その他の地域移行に関して、自治体単独制度・事業がありましたら教えてください。

3) 2) 番の自治体単独の制度・事業の利用について貴施設にあてはまるどちらか一つに○をつけてください。

A 自治体単独制度・事業を利用している。

B 利用していない。

2. 貴施設で独自に取り組まれている地域移行支援事業がありましたら、事業名と実施内容について簡単に教えてください。

1) A 自施設の独自事業がある。

B 特になし

2) 内容について教えてください。

**VII. 貴施設の評価方法について、お尋ねします。**

1. 現在、施設の評価を実施していますか。A Bのどちらかに○をして、質問項目の順に○をつけてください。

1) A 評価を実施している。

B 評価の実施なし

2) 貴施設が評価を実施している方法についてあてはまる番号に○をつけて下さい。

(複数回答)

- (1) 厚生労働省の「サービス共通評価基準」を用いた評価を実施している。
- (2) 第三者評価による評価を導入し実施している。
- (3) 施設オンブズマンの導入による評価を実施している。
- (4) 利用者からの評価基準を設定し、利用者評価を実施している。
- (5) その他

**VIII. 貴施設で活用されている支援方法について、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。**

(複数回答)

- 1. 知的障害者ケアマネジメント
- 2. 社会生活力プログラム(地域リハビリテーションモデル)の活用
- 3. 知的障害者ケアガイドライン(厚生労働省)に示された個別支援計画の活用
- 4. モデル個別支援計画(全社協・社会就労センター)の活用
- 5. 自施設で開発した支援プログラム
- 6. その他 ( )

IX. 貴施設の権利擁護への取り組みに関して実施しているものに○をつけて下さい。

(複数回答)

1. 倫理綱領を施設内で掲示し常に、必読している。
2. 成年後見人制度を活用している
3. 第三者を入れた苦情委員会を施設内に設置し、苦情窓口を利用者とその家族に説明している。
4. その他( )

X. 貴施設の所在地にある知的障害者の地域生活を支援する地域の社会資源の状況についてお尋ねします。( ※ここでは、地域を市町村と限定することにします。)

1. 貴施設の所在地の地域生活支援事業について、A Bのどちらか一つに○をしてから → に添ってあてはまる番号に○をつけてください。(2) 他機関に○をつけられた方は、└ に添ってあてはまる番号に○をしてください。

(複数回答)

①地域療育等支援事業	Aあり Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 └ (3)利用あり (4)なし
②障害者就業・生活支援事業	Aあり Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 └ (3)利用あり (4)なし
③就労支援事業	Aあり Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 └ (3)利用あり (4)なし
④その他	Aあり Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 └ (3)利用あり (4)なし

2. 貴施設の所在地の支援団体・組織についてA Bのどちらか一つに○をして → に従ってあてはまる番号に○をしてください。(2) 他機関に○をつけられた方は└ に従ってあてはまる番号に○をしてください。

(複数回答)

①親の会	Aあり Bなし	→ (1)自機関組織 (2)他機関 └ (3)関わりあり (4)なし
②地域のボランティア組織	Aあり Bなし	→ (1)自機関組織 (2)他機関 └ (3)関わりあり (4)なし
③当事者組織の支援団体	Aあり Bなし	→ (1)自機関組織 (2)他機関 └ (3)関わりあり (4)なし
④その他の支援団体・組織	Aあり Bなし	→ (1)自機関組織 (2)他機関 └ (3)関わりあり (4)なし

3. 貴施設の所在地の市町村地域に下記の社会資源がありましたらA Bのどちらか一つに○をし、Aありと回答された方は → に従ってあてはまる番号に○をしてください。(2) 他機関に○をつけられた方は ⊥ に従ってあてはまる番号に○をしてください。  
(複数回答あり)

①知的障害者通所更生施設	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
②知的障害者通所授産施設	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
③知的障害者福祉工場	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
④知的障害者グループホーム、 又は、福祉ホーム	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑤知的障害者通勤寮	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑥知的障害者通所作業所	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑦就労支援センター	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑧障害者就業・生活支援センタ ー	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑨市町村自立支援センター	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑩知的障害者地域生活支援セン ター	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑪知的障害者 デイサービス	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑫知的障害者 ガイドヘルプサービス	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑬知的障害者 ホームヘルプサービス	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑭知的障害者 ショートステイサービス	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑮その他	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし
⑯その他	<u>Aあり</u> Bなし	→ (1)自機関併設 (2)他機関 ⊥ (3)利用あり (4)なし

I. あなた個人のことについてお尋ねします。

1. 性別

1) 男性

2) 女性

2. 年齢を教えてください。

\_\_\_\_\_ 歳

3. 担当ケース数についてあてはまる番号に○をしてください。

1) 0

2) 1～3人

3) 4～5人

4) 6～8人

5) 8～10人

4. 最終学歴を下記のうちから一つ選んで○をつけて下さい。

1) 高等学校

2) 福祉専門学校

4) 短期大学

5) 大学・大学院

6) その他 (

)

5. 過去1年間に、正式な勤務として、施設外の研修会や研究会に参加した回数についてあてはまる番号に○をつけて下さい。

1) まったくなし

2) 1～3回未満

3) 3～6回未満

4) 6～12回未満

5) 12回以上

6. 過去1年間、正式な勤務以外に、施設外の研修会に参加した回数についてあてはまる番号に○をつけて下さい。

1) まったくなし

2) 1～3回未満

3) 3～6回未満

4) 6～12回未満

5) 12回以上

7. 下記の資格・免許のうち、取得されているものすべてに○をつけてください。

資格を持っておられない方は、11)「資格・免許なし」に○をつけてください。

(複数回答)

1) 社会福祉士

2) 介護福祉士

3) 知的障害者福祉司

4) 作業療法士

5) 臨床心理士

6) 介護支援専門員

7) ホームヘルパー (1～3級)

9) 教師

10) その他 (

)

11) 資格・免許なし

8. 貴施設での役職名を教えてください。

--

9. 貴施設の職員としての勤務年数をご記入下さい。

通算 \_\_\_\_\_ 年

10. 他の福祉職としてのご経験がありましたら経験年数と職種をご記入下さい。

1) 通算 \_\_\_\_\_ 年

2) 職種

--

※ 貴重な時間を割いて頂きましてありがとうございました。知的障害者の入所施設から地域移行を支援する日ごろの実践からの御提言、御意見をお聞かせ下さい。

--

「障害者（通所・入所）施設職員の

障害者ケアに関する意識」調査協力をお願い

皆様におかれましては、日々障害者福祉発展のためにご活躍のことと存じます。

平成15年に支援費制度が施行され、同年12月には、厚生労働省により「新障害者基本計画及び重点施策5か年計画」（新障害者プラン）が策定されました。今日、障害者福祉の分野は大きなターニングポイントを迎えているのではないのでしょうか。その転換期の中にあって、福祉サービスのさらなる向上に努力されている実践者の皆様のご意見は、非常に重要なものであると考えます。

そこで、今回、厚生労働科学研究の一環として、知的障害者・身体障害者・精神障害者関係施設の職員の方を対象に、「障害者（入所・通所）施設職員の障害者ケアに関する意識」についての調査を実施させていただくことになりました。

日々の業務でご多忙のところ誠に恐縮ではありますが、何卒本調査へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

つきましては、本アンケート用紙に回答をご記入の上、**3月5日（土）**までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

本調査は、大阪市立大学大学院 生活科学研究科 障害者・高齢者福祉学分野研究室（担当・分担研究者 岡田進一）が行い、調査結果は統計的に集計・処理されますので、そこから貴施設名が特定されることはございません。また、心ばかりではありますが、お礼として粗品を同封させていただきます。

なお、この調査についてのご質問等がございましたら、下記の担当までご連絡ください。

平成17年2月

厚生労働科学研究費補助金「障害者保健福祉総合研究事業」

主任研究者 大阪市立大学大学院 生活科学研究科  
社会保障科学研究室 教授 坂口正之

分担研究者 大阪市立大学大学院 生活科学研究科  
社会福祉学分野研究室 教授 白澤政和

問い合わせ先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学大学院 生活科学研究科

障害者・高齢者福祉学研究分野研究室

電話・FAX 06-6605-2858

担当：高橋・仁坂・樽井・岡田

下記Ⅰ～Ⅷの質問にすべてお答えください。回答は、選択肢の中から、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

Ⅰ. あなた自身についてお尋ねします。(少々立ち入ったことをお尋ねしますが、本調査に必要なことですので、お答えくださいますようお願いいたします。)

1. あなたの年齢をお答えください。

- ①10代                      ②20代                      ③30代                      ④40代  
⑤50代                      ⑥60代                      ⑦70代以上

2. あなたの性別をお答えください。

- ① 男                      ② 女

3. あなたのお持ちの資格・免許についてお尋ねします。お持ちの資格すべてに○をしてください。

- ①社会福祉士                      ②介護福祉士                      ③精神保健福祉士  
④社会福祉主事                      ⑤言語聴覚士(言語療法士)                      ⑥理学療法士  
⑦作業療法士                      ⑧介護支援専門員                      ⑨ホームヘルパー2級  
⑩ホームヘルパー1級                      ⑪看護師                      ⑫保健師  
⑬助産師                      ⑭栄養士                      ⑮医師  
⑯保育士                      ⑰幼稚園教諭                      ⑱小学校教諭  
⑲中・高校教諭                      ⑳養護教諭                      ㉑その他(                      )

4. あなたの最終学歴についてお答えください。

- ①中学校                      ②高校                      ③専門学校・専修学校  
④短期大学                      ⑤大学                      ⑥大学院

5. あなたが専攻していた分野についてお答えください。

- ①医学                      ②保健学・看護学                      ③社会福祉学  
④介護福祉学                      ⑤教育学                      ⑥心理学  
⑦社会学                      ⑧経済学                      ⑨経営学  
⑩その他(                      )



6. あなたの現在の職場での就労年数についてお答えください。

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ①0～4年   | ②5～9年   | ③10～14年 |
| ④15～19年 | ⑤20～24年 | ⑥25～29年 |
| ⑦30～34年 | ⑧35～39年 | ⑨40～44年 |
| ⑩45～49年 | ⑪50年以上  |         |

7. あなたの福祉職としてのトータルの就労年数についてお答えください。

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ①0～4年   | ②5～9年   | ③10～14年 |
| ④15～19年 | ⑤20～24年 | ⑥25～29年 |
| ⑦30～34年 | ⑧35～39年 | ⑨40～44年 |
| ⑩45～49年 | ⑪50年以上  |         |

8. あなたの、過去1年間の研修会や研究会の参加回数についてお答えください。

- |       |        |       |
|-------|--------|-------|
| ①0回   | ②1～3回  | ③4～6回 |
| ④7～9回 | ⑤10回以上 |       |

## II. あなたの施設についてお尋ねします。

1. あなたの施設の種類についてお答えください。

**身体障害者施設の場合**

- |              |               |               |
|--------------|---------------|---------------|
| ①肢体不自由者更生施設  | ②視覚障害者更生施設    | ③聴覚・言語障害者更生施設 |
| ④内部障害者更生施設   | ⑤身体障害者療護施設    | ⑥身体障害者福祉ホーム   |
| ⑦身体障害者授産施設   | ⑧身体障害者通所授産施設  | ⑨身体障害者福祉工場    |
| ⑩身体障害者福祉センター | ⑪視聴覚障害者情報提供施設 | ⑫盲人ホーム        |
| ⑬その他 ( )     |               |               |

**知的障害者施設の場合**

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ①知的障害者更生施設 (入所)  | ②知的障害者更生施設 (通所) |
| ③知的障害者授産施設 (入所)  | ④知的障害者授産施設 (通所) |
| ⑤知的障害者通勤寮        | ⑥知的障害者福祉ホーム     |
| ⑦グループホーム         | ⑧知的障害者福祉工場      |
| ⑨知的障害者デイサービスセンター | ⑩その他 ( )        |

**精神障害者施設の場合**

- ①精神障害者生活訓練施設（援護寮）      ②精神障害者授産施設  
③精神障害者小規模授産施設              ④精神障害者福祉ホーム  
⑤精神障害者福祉工場                      ⑥精神障害者地域生活支援センター  
⑦グループホーム                            ⑧精神障害者小規模作業所  
⑨その他（                                      ）

**2. あなたの施設の設置主体についてお答えください。**

- ①国立                                      ②公立                                      ③事業団・公社  
④社会福祉法人                          ⑤医療法人                              ⑥その他の公営法人  
⑦営利法人                                ⑧その他（                                      ）

**3. あなたの施設の入所者数（利用者数）についてお答えください。**

（                                      ）人

**4. あなたの施設（機関）の職員の人数についてお答えください。**

（                                      ）人

**5. あなたの施設（機関）は設営何年目ですか。**

- ①0～4年                                      ②5～9年                                      ③10～14年  
④15～19年                                      ⑤20～24年                                      ⑥25～29年  
⑦30～34年                                      ⑧35～39年                                      ⑨40～44年  
⑩45～49年                                      ⑪50年以上

**6. あなたの施設の所在する府県についてお答えください。**

- ①大阪府                                      ②京都府                                      ③奈良県  
④兵庫県                                      ⑤和歌山県                                      ⑥滋賀県

Ⅲ. あなたの施設（機関）の入所者（利用者）が、地域生活へ移行するために必要な条件として何があげられると考えますか。以下にあげた項目が、条件としてあてはまるかどうか、あなたのお考えをお答えください。

1	2	3	4	5
あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない

**施設（機関）側の条件**

**方針・処遇内容**

- |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| 1. 施設（機関）全体の方針として、地域移行（退所計画）を重視している。                    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 施設（機関）全体が地域移行（退所計画）に積極的である。                          | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 施設（機関）全体が地域移行（退所計画）に向けた自立生活訓練に積極的である。                | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 施設（機関）においては、施設（機関）職員に対して、地域移行（退所計画）に向けた勉強会や研修を行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 職員間で、利用者の地域移行（退所計画）に関する話し合いの場が定期的にもたれている。            | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

**職員**

- |                                    |   |   |   |   |   |
|------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1. 地域移行（退所計画）をするための職員の人数が充分である。    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 地域移行（退所計画）をするための職員の資質は充分である。    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 職員間で、地域移行（退所計画）に関する意識が一致している。   | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 地域移行（退所計画）に対して、職員同士の協力体制が充分である。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

**施設長（運営責任者）について**

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| 1. 施設長（運営責任者）は地域移行（退所計画）に積極的である。             | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 施設長（運営責任者）は地域移行（退所計画）を行うための施設（機関）運営能力がある。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

1 あてはまる  
 2 どちらかといえばあてはまる  
 3 どちらともいえない  
 4 どちらかといえばあてはまらない  
 5 あてはまらない

**職員の利用者・親・地域への対応**

1. 職員が、利用者の地域移行（退所計画）への希望を把握している。  
\_\_\_\_\_
2. 職員が、利用者に対して、地域移行（退所計画）・地域生活の説明を行っている。  
\_\_\_\_\_
3. 職員が、利用者の親に対して、地域移行（退所計画）の説明を行っている。  
\_\_\_\_\_
4. 職員が、利用者の親の地域移行（退所計画）への同意を得ている。  
\_\_\_\_\_
5. 職員が、地域に対して、地域移行（退所計画）・地域生活に関する説明を行っている。  
\_\_\_\_\_
6. 職員が、地域に対して、施設でのボランティアや行事の手伝い等のお願いを行っている。  
\_\_\_\_\_

1 2 3 4 5  
 1 2 3 4 5  
 1 2 3 4 5  
 1 2 3 4 5  
 1 2 3 4 5  
 1 2 3 4 5

**利用者側の条件**

**本人**

1. 地域移行をする（地域生活をする）利用者の障害の程度が軽いほうが望ましい。  
\_\_\_\_\_
2. 地域移行をする（地域生活をする）利用者は、身辺自立しているほうが望ましい。  
\_\_\_\_\_

1 そう思う  
 2 どちらかといえばそう思う  
 3 どちらともいえない  
 4 どちらかといえばそう思わない  
 5 そう思わない

1 2 3 4 5  
 1 2 3 4 5

1  
そう思う

2  
どちらかといえばそう思う

3  
どちらともいえない

4  
どちらかといえばそう思わない

5  
そう思わない

3. 地域移行をする（地域生活をする）利用者は、常時1対1の介護が必要ではない利用者であるほうが望ましい。

1 2 3 4 5

4. 地域移行をする（地域生活をする）利用者は、性格が温厚であるほうが望ましい。

1 2 3 4 5

5. 地域移行をする（地域生活をする）利用者は、職員との関係が良好に築きやすい利用者であるほうが望ましい。

1 2 3 4 5

6. 地域移行をする（地域生活をする）利用者は、年齢が高いほうが望ましい。

1 2 3 4 5

7. 地域移行をする（地域生活をする）利用者は、年齢が低いほうが望ましい。

1 2 3 4 5

8. 地域移行をする（地域生活をする）利用者は、施設入所年数（機関利用年数）が短いほうが望ましい。

1 2 3 4 5

9. 地域移行をする（地域生活をする）利用者は、施設入所年数（機関利用年数）が長いほうが望ましい。

1 2 3 4 5

10. 地域移行をする（地域生活をする）ことを支援する場合には、本人が希望しているほうが望ましい。

1 2 3 4 5

**親**

1. 利用者の親が地域移行（退所計画）に同意しているほうが望ましい。

1 2 3 4 5

2. 利用者の親が施設（機関）の方針に協力的であるほうが望ましい

1 2 3 4 5

1	2	3	4	5
さう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	さう思わない

3. 親の会が地域生活型ホームの建設費等の援助を行うほうが望ましい。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

### 地域の側の条件

1. 地域の方々が障害者に関して理解を示しているほうが望ましい。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

2. 地域の方々が、障害者の地域移行（退所計画）・地域生活に関して理解を示している望ましい。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

3. 地域の方々が地域生活型ホームの建設用地の提供をするほうが望ましい。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

1	2	3	4	5
あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない

### 行政の側の条件

1. 行政が提供する、施設（機関）への補助金が充分であるほうが望ましい。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

2. 行政が提供する、地域生活型ホームへの補助金が充分であるほうが望ましい。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

1 あてはまる  
 2 どちらかといえはあてはまる  
 3 どちらともいえない  
 4 どちらかといえはあてはまらない  
 5 あてはまらない

3. 行政が提示する、職員の人数配置基準の規制を緩和することが望ましい。

1 2 3 4 5

4. 行政の提示する、職員の人数配置基準の規制をするほうが望ましい。

1 2 3 4 5

5. 行政が提示する、地域生活型ホームへの職員の人数配置基準の規制を緩和するほうが望ましい。

1 2 3 4 5

6. 行政が提示する、地域生活型ホームへの職員の人数配置基準の規制をするほうが望ましい。

1 2 3 4 5

7. 行政が提示する、地域生活型ホームの設置基準の規制を緩和するほうが望ましい。

1 2 3 4 5

8. 行政が提示する、地域生活型ホームの設置基準の規制をするほうが望ましい。

1 2 3 4 5

9. 行政が、施設（機関）に対して地域移行（退所計画）に関する研修を行うほうが望ましい。

1 2 3 4 5

10. 行政が地域移行（退所計画）に関して理解を示しているほうが望ましい

1 2 3 4 5

11. 行政が地域移行（退所計画）に関して協力的であるほうが望ましい。

1 2 3 4 5

IV. 2003年12月に厚生労働省により、「新障害者基本計画及び重点施策実施5か年計画（新障害者プラン）が策定されました。その中で、「施設サービスの再構築」として、2つの方向性（下記①②とします）が、行政の今後の方針として打ち出されました。

それぞれの内容についての、あなたの考えをお答えください。

方針① 施設等から地域生活への移行の推進～障害者本人の意向を尊重し、入所（院）者の地域生活への以降を促進すること

1. あなたは、新障害者プランにおける、この部分について詳しく知っていましたか。

- ①知っていた      ②大体知っていた      ③あまり知らなかった      ④知らなかった

2. あなたは、新障害者プランにおける、この部分について関心がありますか。

- ①関心がある      ②まあ関心がある      ③あまり関心がない      ④関心がない

3. この方針と、あなたの個人的な考えとの一致度についてお答えください。

- ①一致している      ②まあ一致している      ③あまり一致していない      ④一致していない

4. あなたは、この方針がサービス利用者のQOL（生活の質）向上に、有効であると思いますか。

- ①有効だと思う      ②どちらかというとも有効だと思う  
③どちらかというとも有効ではないと思う      ④有効ではないと思う

5. あなたは、この方針は他の施策と比較して、どのくらい優先性があると思いますか。

- ①優先性が高いと思う      ②どちらかというとも優先性が高いと思う  
③どちらかというとも優先性が低いと思う      ④優先性が低いと思う

方針② 施設の在り方の見直し～入所施設は、地域の実情を踏まえ真に必要なものに限定する。障害者施設は、在宅支援の拠点とし地域の重要な資源と位置づける。

1. あなたは、新障害者プランにおける、この部分について詳しく知っていましたか。

- ①知っていた      ②大体知っていた      ③あまり知らなかった      ④知らなかった

2. あなたは、新障害者プランにおける、この部分について関心がありますか。

- ①関心がある      ②まあ関心がある      ③あまり関心がない      ④関心がない

3. この方針と、あなたの個人的な考えとの一致度についてお答えください。

- ①一致している      ②まあ一致している      ③あまり一致していない      ④一致していない

4. あなたは、この方針がサービス利用者のQOL（生活の質）向上に、有効であると思いますか。

- ①有効だと思う      ②どちらかというとも有効だと思う  
③どちらかというとも有効ではないと思う      ④有効ではないと思う

5. あなたは、この方針は他の施策と比較して、どのくらい優先性があると思いますか。

- ①優先性が高いと思う      ②どちらかというとも優先性が高いと思う  
③どちらかというとも優先性が低いと思う      ④優先性が低いと思う



V. あなたの施設における地域移行（退所計画）支援等の現状についてお尋ねします。（身体障害者施設の方は、以下1～4には答える必要はありません。）

1. あなたの所属する施設の運営主体では、グループホーム等を設置していますか。  
 ①設置している（            ）箇所      ②設置していない
2. 今後、あなたの施設でグループホーム等を新設する具体的計画はありますか。  
 ①具体的な計画が進行中である      ②具体的な計画はないが、将来の目標として考えている  
 ③グループホーム等を新設する予定はない
3. あなた自身は、グループホーム等での直接処遇（指導員等としての勤務）の経験はありますか。  
 ①0～4年      ②5～9年      ③10～14年      ④15～19年      ⑤20年以上      ⑥経験なし
4. あなた自身は、グループホーム統括責任者または地域ケア推進担当の経験はありますか。  
 ①0～4年      ②5～9年      ③10～14年      ④15～19年      ⑤20年以上      ⑥経験なし

VI. 利用者が必要とする援助は、多様な側面をもっています。援助場面において、以下の質問1～17にあげたようなことが必要なとき、現状では「施設ケア」と「地域ケア」のどちらがよりよい援助を提供できると思いますか。あなたの考えをお答えください。

※「地域ケア」とは、入所施設以外の、地域生活の形態のすべて（グループホーム等含む）とします。

※ もし上記Ⅲの質問1～4において、計画や経験が「ない」と答えた場合でも、以下の質問には、あなた自身の考えや経験からの推論でお答えください。

1	2	3	4	5
施設 ケア	ど ち ら か と い え ば 施 設 ケ ア	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 地 域 ケ ア	地 域 ケ ア

**身体の安全・健康維持のための援助**

1. 医療機関との緊密な連携が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助ができると思いますか。

1	2	3	4	5

2. 利用者の日常的健康管理（衛生への配慮、投薬管理、健康維持など）が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助ができると思いますか。

1	2	3	4	5

3. 大きなケガや急病など緊急の対応が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助ができると思いますか。

1	2	3	4	5

4. もしも利用者のパニックや暴力的行為への対応が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助ができると思いますか。

1	2	3	4	5

1	2	3	4	5
施設ケア	どちらかといえば施設ケア	どちらともいえない	どちらかといえば地域ケア	地域ケア

**日常生活をささえるための援助**

5. 生活の中でADL（日常生活動作＝食事、入浴、排泄や、屋内外の移動など）の援助が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

6. 家事（洗濯や掃除、整理整頓など）の援助が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

7. ADLや家事の援助場面で、利用者の自立性を妨げない配慮が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

**信頼感のある援助関係の形成**

8. 生活の中での利用者一人ひとりの話や悩みごとなどに、援助者がじっくりと向き合うことが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

9. 利用者一人ひとりに対し、時間的・精神的ゆとりのある援助が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

10. 利用者一人ひとりの障害特性や個性を尊重した援助が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

**余暇の充実のための援助（施設外への外出の機会）**

11. ※ 独力か、ヘルパー等利用で、買い物や外出が出来る利用者の場合で  
考えて下さい

外出や買い物の機会を増やすことが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
└──────────┘				

1	2	3	4	5
施設ケア	どちらかといえば施設ケア	どちらともいえない	どちらかといえば地域ケア	地域ケア

12. ※重い身体障害や行動障害等、専門的援助が必要な利用者の場合で考えて下さい

外出や買い物の機会を増やすことが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

13. うまく意思表示できない利用者に、外出等への意欲を促すことが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

**社会参加をささえる援助**

14. 社会生活に必要な知識・技能（公共マナーや社会生活の具体的技術等）を、利用者が習得していくことが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

15. 利用者が、地域住民との交流の機会をより多くもつことが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

**地域社会との「橋渡し」をする援助**

16. 障害をもつ人への、地域住民の理解・協力を促進することが必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

17. もしも地域住民と利用者との間に何らかのトラブルが発生し、適切な対処が必要なとき、現状の施設ケアと地域ケアでは、どちらがよりよい援助が出来ると思いますか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

**Ⅶ. 施設で働く専門職の自立概念の認識についての調査**

自立概念にはさまざまな定義がありますが、専門職として、あなたは、以下の質問についてどのようにお考えですか。回答選択肢の中からお答えください。

なお、質問項目における自立の定義は、以下に示したものがその全てではありません。また、これらの質問は、自立に関するあなたの考え方と一致・不一致であるということとは問われません。

- |      |              |           |                |        |
|------|--------------|-----------|----------------|--------|
| 1    | 2            | 3         | 4              | 5      |
| そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらともいえない | どちらかといえばそう思わない | そう思わない |

**身辺自立について**

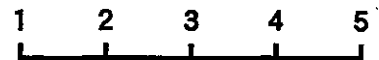
1. 身辺自立とは、日常生活（掃除・洗濯など）において他人に依存しないことである。

---

2. 身辺自立とは、自分にとって必要かつ適切なサービスを介護人に依頼できるようになることである。

---

3. 身辺自立とは、必要で適切な介助を受けて快適な生活を送ることである。



**心理的・精神的自立について**

1. 心理的・精神的自立とは、自己決定と自己選択が自分自身でおこなえるようになることである。

---

2. 心理的・精神的自立とは、自己決定と自己選択の結果に責任が取れるようになることである。

---

3. 心理的・精神的自立とは、生活のために必要な介助を利用していても、自らが生活様式の決定を行えるようになることである。

---

4. 心理的・精神的自立とは、自己決定を待たず、専門職などが決定してしまうことをできるだけ避けることである。

